

流水救助・活動レベル1／スケジュール表

注1: スケジュールは予定です。終了時間は遅くなる事があります。また、始業時間の変更もあります。

注2: 状況により内容は入れ替わります。時間の制約で、すべては実施できない場合があります。

1日目

受付／9:00～9:20

学科講習と河川実技講習／9:30～18:00(午後、川での実技講習)

講習課目	概要
救助哲学	救助の基本的な考え方と救助者の心構え。救助の優先順位、救助方法の危険レベル分類、チーム構成など
水文学と流水力学	川と流水の特性、危険物、個所、流水の3つのワナなどの説明。
個人装備	救助に必要な個人装備や服装の紹介。PFD、ヘルメット、リバーナイフ、ウェットスーツなど (昼食後、着替えて、川での実技講習)
流水での基本的泳法	流れの方向やエディを確認し、安全に流される泳法(自己救助)や、積極的な泳法についての実習。
スローライン救助	極めて有効な救助の道具である、スローロープ(スローバック)の特性と使い方、流される要救助者を陸上から救助する訓練 (着替え、教室へ移動)
ロープノット	救助に有効で効率的なフィギュアエイト(8の字結び)系を中心としたロープの結び方の紹介と習得

2日目

河川実技講習と修了式／8:00～18:00(終日、川での実技講習。現地で昼食予定)

講習課目	概要
浅瀬横断	救助者(単独および複数)が、浅瀬を歩いて要救助者を救助する方法
ボート操船	水上救助で使用するインフレーターボートの操船訓練
2ポイント・4ポイント・ボートテザーシステム	ボートに複数のロープをつなぎ、ロープを両岸から操作することによりボートを制動させる救助システムの訓練
接触スイム救助	流されている、溺れている要救助者を、直接、泳いで救助する訓練
テザースイム救助	クイックリリースベルト付きPFDとスローロープを利用した救助訓練
フットエンタラップメント	川底の障害物などに足がはさまり動けなくなった要救助者の救助方法
ストレーナー越え	流水にあるストレーナーの危険性の確認と対応についての訓練 (着替え、教室へ移動)
修了式	修了項目シートと修了証を交付

個人装備(当日持参)	□筆記具(ノート、手帳、多色ボールペンなど)
	河川講習用／□PFD □ヘルメット □ウェットスーツ □シューズ ※不足する装備品はレンタル可能です(有料)。事前に、お申し出ください。 食事／昼食は含まれません。ご持参されるか、受付時に、ご注文ください。